

ふなやま 由美

太白区民の願い 県政へ
ともに希望をつくる

略歴

宮城県伊具郡丸森町の農家に生まれる。角田女子
高等学校、宮城県総合衛生学院卒。宮城県厚生協
会長町病院で保健師として勤務。2003年から
仙台市議(4期)。太白区西中田在住。家族・夫。



物価高からくらしを守る

小・中学校
学校給食
無料に

県で1/2補助。予算の
0.5%で、できる。

18歳まで
医療費無料に

日本共産党県議8人に
なったとき拡充。さらに
前進を。

復興公営住宅
家賃減免

値上げノー

水道料金
値下げ

再公営化を

女川原発
再稼働
ストップ

多様性
輝く社会へ

パートナーシップ条例
の制定。

防災・減災
対策の強化

河川改修、森林の乱開
発規制を強化。

食と地域農業
まもる

農業予算を増額。価格保
障・所得補償を県で。

東北一の財政力
1兆円をくらしにいかす

宮城県の一般会計予算をくらしのために。

税金の使い方 厳しくチェック

JR貨物移転と広域防災拠点に400億円以上?
JR貨物にも費用負担を求めます。



ふなやま由美

「なにより命」が原点

日赤病院 精神医療センター まもれ 村井県政とブレずに対決

保健師11年・市議14年 経験を県政にいかす



県民の声を聞かない強引な村井県政と対決している日本共産党。
仙台市の県議で、保健所減らしに正面から反対したのは日本共産党県議でした。
知事いいなり県議ばかりでは、県民の声が届きません。

知事礼賛の自民・公明
「課題を先送りすることなく確実に実施を」
(自民党県議)
「リーダーシップを発揮されることをお願い」
(公明党県議)

マイナ保険証やめて！
インボイス中止・延期を

国の悪政から暮らしを守る

自民党や公明党は国会で保険証廃止を決め、県議会では、マイナ保険証、インボイス中止・延期の意見書案を否決。維新の会は「第二自民党」と代表が自認しています。
暮らしを守るために、国にモノ言えるふなやま由美さんがが必要です。

秋保に特別支援学校新設
(来年4月開校)

確かな実現力

党県議団とともに県立高校のタブレット無償化、旧築川排水機場の整備などを実現。
ふなやま由美さんが党県議団に加われば、実現力がパワーアップします。

現場へすぐ
被災者によりそって

行動力ばつぐん



豪雨、水害、地震……要望を聞き、解決にひた走る。



衆院議員 高橋ちづ子 参院議員 紙 智子 参院議員 いわぶち友 市議会議員 高村 直也

県も国も民意が通る政治を
ふなやま由美
ワンチームで
日本共産党